

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

市町名	大崎上島町
所属名	健康福祉課
担当者名	脇 圭志
連絡先(電話)	0846-62-0303

タイトル	生活支援・福祉サービスの推進
区分(あてはまるものにチェックを)	☒ 自立支援、介護予防、重度化防止 ☐ 介護給付費等適正化

現状と課題			
高齢化に伴い、栄養管理や火の扱いに不安のある在宅高齢者や障害者が増加している。それに紐づき、ひとりで買い物や公共交通機関の利用などが困難な人々も居る。上述の方々が快適かつ安心して過ごせる環境作りには、自立への促し、併せ生活基盤の整備が欠かせない。 本町では、高齢者や障害者が抱える日常生活の不安が払拭できるように、町配食や外出支援など社会福祉法人と連携し事業を行っていく。			
第9期（令和6年度）における具体的な取組			
火の管理や栄養バランスが不安な人々には配食サービスの利用を促進する。また、70歳以上の1人暮らし高齢者、18歳以上の1人暮らしの重度身体障害者等に、急病や災害などの緊急時に受信センター等に通報できる緊急通報装置（あんしん電話）を設置している。 ひとりで買い物や公共交通機関の利用が難しく、自立した日常生活に支障のある65歳以上の高齢者を対象として、シニアカーの購入・貸与費用を助成し外出の利便性の向上を図る。			
目標（事業内容、指標等）			
・配食サービス（※）	令和6年度	令和7年度	令和8年度
大崎福祉会	29,850食	33,500食	33,000食
ひがしの会	38,000食	37,000食	36,000食
※いきいき配食も含む合計			
目標の評価方法			
・町内各種の配食サービスの食数を合計する。 ・緊急通報体制等整備事業（あんしん電話）の利用状況をカウントする。 ・シニアカーの購入及びレンタル費用の助成件数をカウントする。			

取組と目標に対する自己評価シート(自己評価結果)

(実績評価)

実施内容
・各種配食サービスは、火の扱いや栄養管理が困難な方に栄養バランスの整った食事を提供するのみならず、自立促進や安否確認も兼ねている。 ・あんしん電話の各種手続きは、業者との連携を深めて行っている。 ・シニアカー費用助成は、購入か貸与かは問わない。高齢者の日常生活の利便性を向上させている。
自己評価結果 【○】←(◎, ○, △, ×のいずれか※を記載してください。)
・各種配食数：大崎福祉会 町配食：13,308食 いきいき配食：22,128食 計：35,436 ひがしの会 町配食：11,139食 いきいき配食：22,481食 計：33,620 ・緊急通報装置設置件数：28件 ・シニアカー購入費助成事業：7件
課題と対応策
【課題】 ・高齢化に伴う免許返納等により、シニアカー費用助成は今後も必要不可欠となる事業である。また、勾配が急な地域に居住するシニアカー利用者の安全面への不安も聴き取りが必要になる。 ・あんしん電話は利用者による付属のペンダント紛失が度々発生している。 【対応策】 ・交通状況の聴き取りを行い、より良い手段の導入を図る。 ・付属のペンダント紛失防止のため、分かりやすい目印等を付けておく様に推進する。

※「◎達成できた、○概ね達成できた、△達成はやや不十分、×全く達成できなかった」